

東山動植物園との連携

実施者
連絡先看護学研究科 教授 尾崎康彦 yozaki@med.nagoya-cu.ac.jp
理学研究科 教授 熊澤慶伯 kuma@nsc.nagoya-cu.ac.jp

U R L

生物多様性研究センター <https://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/biodiv/>

連携・協力

名古屋市東山総合公園

ポイント

平成 22 年の覚書締結以降、多岐にわたる連携事業を実施しています

1 概要

- ・本学では、東山動植物園と締結した覚書に基づき、SDGs 関連事業としてアニマルウェルフェアや希少動物の繁殖に関する研究及び遺伝子多様性のデータバンク、公園内のサインシステムの提案等、東山動植物園との連携事業を実施しています。

2 活動内容

- ・日本国内の動物園飼育下のオランウータンの人工繁殖計画に寄与することを目的に、東山動植物園及び国内の施設と連携し、ヒト生殖医療のオランウータン繁殖計画への応用及び健康管理に関する研究を行っています。また、ゴリラやオランウータンなどの大型類人猿のCTや超音波断層法による画像診断チームを結成しました。（看護学研究科）
- ・動植物の遺伝情報を明らかにすることで、環境保全の基礎資料とするとともに、国際的なDNAデータベースの充実に寄与するため、東山動植物園で展示されている動植物のDNA分析及びバーコード化を行いました。（理学研究科附属生物多様性研究センター）
- ・そのほか、平成22年度に公園内のサインシステムの提案や、平成26年度に北アメリカ大陸エリアに展示されている動物を紹介するリーフレットデザインへの協力を行いました。（芸術工学部）

3 成果

- ・東山動物園と名市大 SDGs センター、西部医療センターとの共同開催で、Human Feedback プロジェクト 2024、動物とヒトとの共存-そのために私たちに何が出来るか?-を令和 6 年 3 月 3 日に同園内で開催しました。多くの参加者が来場され満員御礼となりました。
- ・東山動植物園で飼育されている動物のDNAバーコードの分析結果について、平成 28 年 7 月に報告書を発行しました。また、平成 29 年 10 月になごや生物多様性センターで開催された第 4 回生物多様性センターまつりに東山動植物園と連名で出展し、DNAバーコーディング研究の成果について展示しました。



東山動物園とのイベントのチラシ



プログラムの様子